

第1回阿賀野市宝珠温泉保養センターあかまつ荘の在り方検討会「会議録」

日 時：令和4年8月31日（水） 14:00～16:40

場 所：阿賀野市役所 第2多目的ホール

出席者：宍戸邦久、菊地修市、石井誠一、星野智生、齋藤由春、笠原尚美、八木正男、
酒井泰子、市村光子、齋藤利雄、横山馨太（11名中11名出席）

事務局：（商工観光課）大橋課長、丸山課長補佐、田村観光係長

関係課：（企画財政課）西潟課長

1 開会

2 自己紹介

※バスにてあかまつ荘へ移動し、施設の現況確認

3 議題

（1）委員長及び副委員長の互選

委員より意見なし。

事務局案として、委員長に宍戸邦久委員、副委員長に菊地修市委員を提案。

全委員意義なしにて承認される。

委員長：宍戸邦久

副委員長：菊地修市

（2）現在までの経緯等及び今後のスケジュール

事務局より資料を説明

（意見等）

○委員

陳情書を出したときも、市長が健康寿命日本一を目指しているのに対して、温泉を無くすということは真逆ではないかということをご提案しました。

お年寄りの意見もそのあとにお聞きしましたが、入館料につきましては、500円、600円でも行きますという方が、私も高齢者ですけれども、もっと高齢の方、朝から循環バスで利用している方が言っていました。

お風呂が無くなってぼけたらどうしよう、介護費用がかかる、医療費もかさむことも陳情のときに提案しました。

医療費や介護とのバランスを考えると、どちらかを取るかということでぜひ再開して欲しいと願っています。

○委員

私も毎日、宝珠温泉を利用させてもらっていた1人です。

新聞記事を見ると、もう1年ぐらい市で運営してくれるということで、安心してお風呂に入っていたら、突然4月から休館するというので、みんなが困ったね、困ったねと話していました。

商売で運営しているのではないのであったら、何とか福祉として、半年でも1年でも続く限り運営していただけないでしょうか。

お年寄りの方、毎日のように市営バスを利用していたおばあちゃんとか、その人たちみんな今はどうしているだろうか、温泉に入ることがなくなって、やることがなく、仕方なくデイサービスにてコミュニティとか。

温泉に行っていると、お医者さんにもかからなくていいし、毎日お話できて夕方まで遊んでいられるというそういう一面もあって、医療費とかもかからないし、こちらのほうが安くあがるのではないかって、というような話も結構出たりしていて。

何とかいい案を出していただいて、半年でも1年でも長く、またお風呂を始めてもらえたらありがたいなという思いです。どうぞよろしくお願いします。

○委員

あかまつ荘を見学してきて、利用したことは1度もないですけども、前回、行革推進委員会の開催時に見学させていただいて、今回見学は2回目です。やはり広いなというか、建物が大きいなという印象で、維持していくのに、赤字では、結構税金が投入されているなっていう感覚はありました。

これを維持して、半年とか何とかとおっしゃいましたが、いつまで維持できるものなのかと。

もうすでに本体も維持できないような状況にきているのではないかなと思うのですが、どんなもんなのでしょうか。

1,600人の方の署名が集まった中で、単純に計算するとそういう署名の方が、週に2、3回利用すると、収入、出ていく支出が、合うのだろうかみたいな、暗算が間違っているかもしれませんが、そんな計算になりましたけど、残していくのに対して、疑問は残ります。

○委員

私も今日久しぶりにお邪魔させていただきました。若いころは、近くのスキー場も何回もお邪魔しました。あの頃はどこの市町村もいろんなところで施設を開発し、いろんな施設が稼働して、一番いい時代だったのかなと思います。

ただ、やはりここまで来ると、時代は変わっているし、動いているし、いろんな問題が生じてきているなど。

やはり新型コロナウイルス感染症が一つの大きな要素であると思います。

その中で、行政の方からいろいろな資料をいただいて、様々な数字を見させていただきました。

数字にはないものを検討会では見つけ出していかなければならないと思います。

ただ数字上で終わってしまって、良い悪いの判断だけで終わるということは、非常に残念なことなので、何とかいい方策、これに書かれていないような、どこか全国を見渡してその中でいい事例を発見し、可能であれば事務局で全国的にこのような問題に取り組んでいるようなところで同じような施設を扱っているようなところをもう1回チェックしていただき、参考資料を提供して欲しいです。

最後はやはり情勢的な数字だけではなく、もしこの施設を運営した場合に民間の人であればどのような見方をするのが最終的には運営をする、しないの起点であるかなと思います。

やはり、組織などから大きいお金の財政資金をこれだけ投入しているというのは、なかなか市民の理解、この先々人口減少も含めて投入できない部分が出てくると思うので、もしできたら民間の利用した数字、それから全国的な視野に基づいた成功事例みたいなものが見出せればなど、今日見てそんなふうに感じました。

○委員

私も何回か利用させていただきました。

近くに村杉とか月岡とかがありますが、そういうところへ行くと休む場所がありますよね。

やはりお風呂を上がってからすぐ休むことができる施設がものすごくもったいないと思います。

金銭面ですが、料金をちょっと上げて人数を増やすことによって、また減るかもしれませんが、やってみなければわかりませんが、そういうことで、近くにあるお風呂に入ってその後ゆったり休めるああいふ施設を利用していただければと思います。

ただ、金銭面や経営面となるとやはりちょっと強く言えない部分もありますけど、なるべくならあった方がいいかと思います。

○委員

私も何度も施設を利用させていただいたので休館している様子を見て、やはり使用しないとこんなにさびれていくものだなと感じました。

継続してくださいと言うのは簡単ですが、今後も老朽化が進むにつれてメンテナンス費用も多く発生してきますし、しかしながら財源が潤沢にあるわけではありませんので、どうしたら存続できるかという議論をしなくてはいけないのかなと。やめてしまうには何か惜しいなという気がします。

先ほどお話がありましたけれども、もっと使用料を払ってもいいから続けて欲しいという希望もあるようですし、自分たちでこの施設をもっと利用して存続させたいというニーズを掘り起こしてみたら何とかなるのかなと思いました。

○委員

陳情書の署名提出がありますが、署名に関しては、市内外の1,612人とありますが、市民と市民以外で数的にわかれば後で数字を提供してもらえますか。

あと一部の地域に偏っているのであればその地域、例えば安田地区に限定して署名があるということになると、例えば1年で2,000万円くらいの指定管理料を毎年補填し

ているわけですね。

その場合、10年払うことになるので2億円のお金が注ぎ込まれるわけですが、市の財政が非常に厳しい中で、一部の地域の方だけの施設に2億円を使うのですかと考えると市民の同意が得られるか、その辺で私は非常に疑問があります。

このため、利用者の地域別の資料を見せてもらいたいですし、また陳情書の陳情者の市内と市外の人数を提供いただきたい。

地域によってどれぐらいの陳情書が出たのか、陳情書を私は見ていないので、どこの地域の方がどれぐらい出しているかわからないのですが地域別を出してもらえれば、この地域のエリア、阿賀野市の全体的なものであれば、何とか考えていくことになると思います。

一部の地域だけですと他の地域の方が利用しない施設となると、約2,000万円を10年間で2億円になるという中で、もっと別なものに使用できないか、例えば今の農村改善センターなんかでも利用して、もっと別な目的で使用されないのかなということも考えられますし、ただ資料の修繕内容を見ると大きな修繕もしているのですが、今後もおそらくポンプなどにかかなり大きなお金が発生すると思います。

ポンプが駄目になったからやめましょうなんてわけにはいかないと思いますので、その辺を私は懸念しています。

○委員

私も子供が小さい時にお邪魔した程度です。

先日、道の駅国上が新しくなり近くの温泉施設と連携を図るようになったので、若い人にとっても楽しい施設になっているよという話を聞いて行ってきました。

以前に伺ったときは、閑散としており足湯にすら誰も入っていない状態だったのですが、足湯は芋洗いの状態で足が入っているのか手が入っているのかわからないぐらいのすごい状態でしたし、家族連れの方々から非常に魅力のある施設になっていました。さらに、温泉施設にも寄ってみようかという感じの周辺施設がそんな感じになっていて、とても集客を図っているように感じて帰ってきました。

今ほど、陳情されたお2人のお話を伺ったときに、お年寄りの話が出てきていましたが、もう少し年齢層がわかるデータがあればお示しいただけるとどの年代層がどんなふうに使ってきたのかということがわかって、どこをターゲットにしたら存続ができるのかという話ができるのかなと思います。

あかまつ荘は回転率が非常に低い施設だったような気がしてしまっていて、いつ行っても似たような方々がずっといらっしやって、私たちは子供を連れてさっさと風呂に入ってさっさと帰る、そういうイメージが強い施設でした。

そういうマイナスととらえられる要素を、プラスに転じさせていくような検討も当然していきながら、市の財政を当然きちんと念頭に置いた上で話をしていかなければいけないと思います。

誰に対して魅力をPRして集客を図っていくのかという話も一緒にしていけたらいいなと思っています。

○委員

私もさきほど見学させてもらいまして単純に思ったことが外から眺めて、農村環境改善センターとあかまつ荘を分けて考えたらまた別の考えが出るのではないかなと思いました。

単純な考えなのですが施設に長い時間いる人もいますが、すぐに帰る人もけっこう多いらしいですよ、話を聞いてみると。

だからあんな大きな休憩所はいらないのではないかっていうような話も聞いていました。

今日外から施設を見て、そんな感じがしました。

○委員

家族にあかまつ荘の話をした際に近くに民間の温泉施設があるしどうしても残さなければならぬのかと言われました。

今回施設に行かせていただいて、農村環境改善センターの建物とあかまつ荘をあわせて利用するというのを考えると、休憩場所はあるのですが残念ながらあかまつ荘の老朽化が目立ち、修繕するとなるとそれなりの費用が発生するとのことですから、料金を上げてもいいというお話もありましたが、それを逆に他の施設に補填してあげるという判断をしてもらおうという考えた方もあったと思います。

どうしてもあかまつ荘が必要なのかどうかということと、そこを十分に伝えるためには逆にどういうふうなことを考え出したらいいかということをよく考えていかないと駄目だと思います。

○委員長

検討会の中で唯一の市外在住者であり、様々な意見を言うことは可能ですが、同時に委員長を仰せつかりましたので、こうすべきああすべきであるという意見はちょっとこの場では控えたいと思います。

ただ、皆様のお話を伺っていると、やはり現状のままではもう袋小路だなという印象を受けました。ならばこれを打開するためにはどんな方策があるのか、AなのかBなのか、例えばまだ考えてなかったことを考え、全国の事例とか成功事例とかですね、これを探するのは事務局の仕事ではありますが、私がちょっと得た情報では、いかに地域の方が汗を流すかということが存続している施設の共通項ではないかなと思います。

そのために何ができるかということは、まさに事務局にいろんなところを調べてもらいながらそこから得られた教訓、その教訓を阿賀野市に置き換えた場合にどういうことができるかといったことを第2回以降に議論していただければいろんな方策が見えてくるのかなと。

ただ単に、残しますや廃止しますではなく、何ができるかといったことを今後は議論していく必要があるのかなと思います。

皆様どうもご意見ありがとうございました。

復習になりますますがまず事務局は委員の皆様からいただいたご意見については次回までに、例えばテーマごとにあり方についてとか、料金についてとか、存続策についてとか、他の地域との比較についてとか、いろんな意見が出てきたということを項目ごとにまと

めて論点メモを作成してください。

二つ目として委員の皆さんから同時に宿題をいただきました。

全国の成功事例と民間ならどうするかというケース。

署名の市内市外あと地域とか。

年齢層もわかればその内訳なども、もちろん個人情報に関わるお話がありますのでそういうところは伏せていただき年齢層であるとか、構造といったところを、宿題として頂戴しました。

以上、皆様から例えばご意見頂戴したところがございますが、加えて話を聞いたらこの視点もあるとかあの視点もあるっていう追加について、何かご意見ありますでしょうか。

○委員

公募の今後の予定は何かありますか。こうやって公募しようかとか。

○事務局

公募するということは再開に向けてやるということなので、再開する判断をした上で、公募はしなくてはいけないので、それはその次の話かなというふうに思います。

○委員長

これは一委員として、宿題のお願いです。今のあかまつ荘を今日拝見しました。使えそうだけど、やはり今はお休みの段階でこれを仮に再開した場合にどれぐらいのお金が発生しますか、その試算を出してください。

仮に、例えばここを修繕しなければならないとか。

休館してまもなく半年です。再開にかかる初期経費だけでも結構ですので、どのぐらいのお金が発生するかをお示してください。これも検討するときの一つのポイントになると思います。

○委員

ちょっと突飛なことを言いますけれど、陳情団体の方が指定管理を受けられて運営するという方法はないのですか。

○委員

自分たちがやっていくということは、ちょっと。

○委員

自分たち陳情団体のほうで責任を持つというか新たなお願いじゃなくてこういうふうにして行きたいとかそういったものがあるのだったらご自分たちでやっても私は良いと思います。全部じゃなくても一部でも。

○事務局

私どもが調べた中で、阿賀町で一度休止した様々な温泉があったのですが、そ

の中でNPO法人が運営している施設があって、温泉施設で働いた経験がある方が中心となって運営しているのですけれども、そのほかにも地域の自治会の方も入って運営している例はございます。

次回お示しさせていただきたいなど、そういう事例が近くにあるということでございます。

○委員長

資料において、他の自治体施設の料金の情報提供ありがとうございます。

ついでに、入場者数も教えてください。

直営にせよ指定管理にせよ、自治体が経営する施設にお客さんがどのくらい入っているかということを見てみたいと思いますので情報収集をお願いします。

○事務局

商工観光課として観光の観点から見ていますが、皆さんから福祉の観点を出してもらいましたし、使用料という話もあったので、収支の試算も次回に示させていただきたいなと思っています。

また、高齢者の方がほとんどで8割から9割を占めていますので、足りない部分の若者が今どうなのかというところがございます。

そういうところの資料もあればと考えております。

○委員

検討の視点の3番について事務局にお伺いしたいのですが、あかまつ荘の設置目的を達成するため、その次がちょっとお聞きしたいところなのですが、あかまつ荘の施設運営以外の施策についての議論を行うということはあかまつ荘を運営することにこだわらないでこの設置目的を達成してもいいというふうなお考えなのでしょうか。

○事務局

結局のところ、あかまつ荘の設置目的がやはり重要になると思います。

あかまつ荘を運営することが最終目的ではなく、あかまつ荘の設置目的であります市民の心身の健全な保養を図り、福祉の増進に資するという設置目的を達成するためのその他の取り組み、例えば温泉の割引券を配布して、市内温泉の入浴の利用を促すとか、そのようなあかまつ荘の施設運営に限らない取り組みができないか、この福祉の増進に資する取り組みができないかどうかということです。

近隣に民間の温泉施設もありますし、笹神であれば、五頭温泉郷、日帰り温泉も当然あります。

特定の地域の方の目線ではなく、市民目線に立った検討が必要なので、笹神は遠いとか、安田が近いとか、そういった議論ではないと思います。

あかまつ荘がたまたま今安田にありますけれども、設置目的を達成すれば、あかまつ荘の施設運営に限らずに違う方法もあるのではないかとということも、委員の皆様から意見をいただきたいということです。

○委員長

次回以降この検討会での議論にも今の視点も踏まえて委員の皆様からご意見をいただきたいと存じます。

○委員

9月に開催する第2回検討会は、いつ頃の予定なのでしょうか。

(3)その他、次回の検討会日程等について

○事務局

次回の日程について、9月28日水曜日の午後ということで皆様、日程いかがでしょうか。

○委員長

28日を軸に調整させていただきたいと存じます。

また、出席できない方には、例えば、意見様式とか質問様式とかを事前にメールなりファクシミリで送っていただきご意見をいただきたいと思いますので、事前の資料送付とあわせて、欠席される皆様にフォローをしてください。

4 閉会